

バイオスタウン構想分析DB

[【リンク】留萌市バイオスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
1	2005.2.10			北海道	留萌市	28,139	297.31
構想の要約		これまでに徹底して進めてきたごみの分別収集とリサイクルの取組を加速させ、地域発の新技术である多目的材料変換システムを活用し、生ごみ、もみがら等からの肥料・燃料の原料生産などに取組む。資源循環型社会の理念のもと建設された「美サイクル館」を拠点に、廃棄物系バイオマスをフル活用し、「ごみゼロエミッション」の確立を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		バイオマス処理施設(多目的材料変換システム【MMCS】工場)において、下水汚泥や水産加工残渣、籾殻、木皮など積極的に堆肥生産 木質ガス化プラント導入の可能性調査を実施					
バイオマス利活用目標							
バイオスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物		間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ	○	竹材			
製材工場等残材	○	その他()			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	○
その他()		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	
		バイオエタノール化	
		その他(MMCS(多目的材料変換))	○

バイオスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標

(バイオマスタウン構想書からコピー)

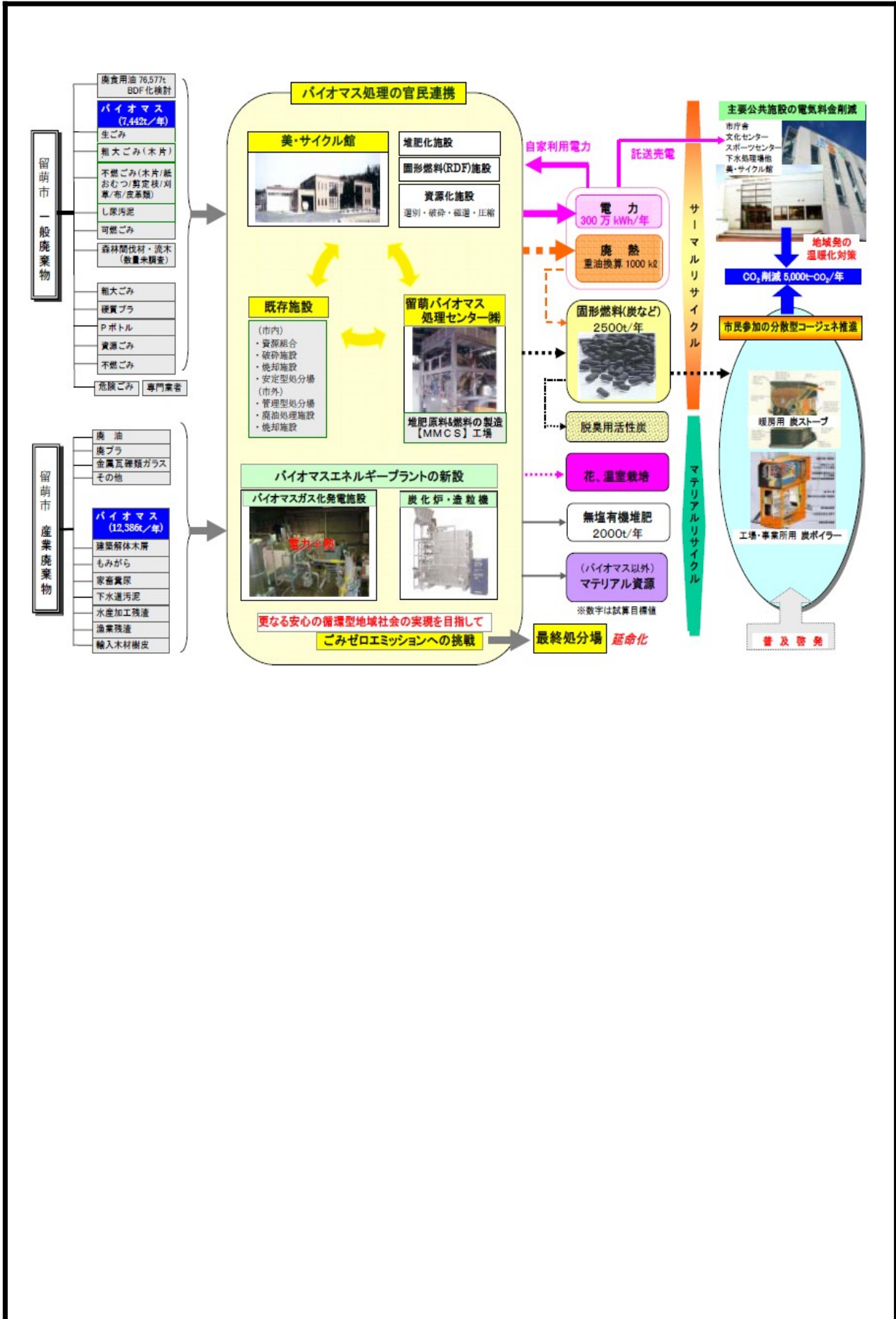
(1) 利活用目標

廃棄物系バイオマスはすでに分別処理されているため、システム改善により、100%利活用を目指す。特に、埋め立て処分してきた下水汚泥は、新設のバイオマス処理センター(株)において、水産加工残渣とともに堆肥生産される。すでに堆肥メーカーから年間2400tの注文を取り付けており、安定的な利活用が可能である。

未利用系では、籾殻や木皮は湿潤バイオマスの水分調整剤や、熱化学分解方式によるガス化発電の資源とする。林地残材や間伐材の利活用を進めるため、海を育てる活動と共に、環境を守る活動による積極的な普及対策に努める。

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)